

競技上の注意事項

□本大会は「財団法人 日本テニス協会 テニスルールブック 2006」に準じて実施します。選手・監督・引率責任者は「ルールブック 2006」を熟読の上、ご参加下さい。以下に特に注意する点を記します。

1 試合心得

- (1) 出場選手は、対戦前の挨拶を礼儀正しく行うなど、マナーを守り、試合に臨んで下さい。
- (2) 関東各都県の代表としての誇りを持ち、スポーツマンシップの則り正々堂々とプレーをして下さい。守られない場合には「ルールブック」に従い、「コードオブコンダクト」を適用します。また、試合中は以下の通りとします。
 - ①相手プレーヤーには不愉快な思いをさせないよう、言動に気をつけましょう。
 - ②フェアプレーの精神でベストを尽くし、正々堂々と戦いましょう。
 - ③隣り合ったコートで共に試合が進行しているときは、隣コートのプレーヤーのプレーを妨げないように気遣いましょう。
 - ④審判員に対して質問をしたり確認を求めたりするときは、節度ある態度を取りましょう。
- (3) ユニフォームは全国高等学校体育連盟テニス部の規定に従って下さい。また、開会式、表彰式及び閉会式には、ユニフォーム又はウォームアップを着用して臨んで下さい。
- (4) プレーヤーは、トランシーバー、携帯電話、CDプレーヤーなどを試合中に使用することは出来ません。
- (5) 試合を円滑に進めるために、観客（応援マナーやコーチング等）及び選手の倫理規定に反する行為に対しては、ロービングアンパイア等が直接対処します。

2 試合方法

- (1) 試合球は公認球（イエロー）を使用します。
- (2) 審判は開催県の競技補助員が行います。又、ラインアンパイアがスコアパーソンを兼ねます。
- (3) 試合はすべてオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控えの選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合が終了後直ちにコートに入って下さい。また、試合前のウォームアップは3分以内とします。審判の指示で適切に試合を進行して下さい。
- (4) 試合開始（試合の最初のサービスがインプレーになったとき）から試合が終わるまでは、プレーは連続的に行って下さい。第1ゲーム終了後の休憩は認めません。
- (5) 選手は「レット」の主張を出来ません。

3 その他

- (1) 前年度の優勝杯（持ち回り）を保持している学校は、監督会議開始までに大会会場へご持参下さい。

個人戦の注意事項

- (1) 出場選手は試合開始予定時刻の10分前までに試合の出来る服装で、大会本部に出席を届けてください。時間までに届出のない場合は棄権と見なします。
- (2) 試合は1タイブレークセットマッチとしますが、以下の試合は3タイブレークセットマッチとします。（ボールはセットチェンジとします）
 - シングルス 準決勝・決勝
 - ダブルス 決勝ただし、天候等により試合方法が変更になる場合もあります。
- (3) 雨天等で試合の有無が確認できない場合でも、定刻までにご参集下さい。
- (4) すべての競技が終了後、表彰式を行います。